

11/7 2025
[金]

13:00-16:00 参加費無料
開場 12:40

会場参加 または オンライン (Zoom)

会場

九州大学伊都キャンパス
中央図書館4階
Sky Cute.Commons
福岡県福岡市西区元岡744

参加申込み

下記サイトより事前
登録をお願いします。
https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_35.html



● 講演

田村 隆 東京大学大学院
総合文化研究科准教授

「国文 /17F」

山根 泰志 九州大学附属図書館

「文庫たちの過去と未来」

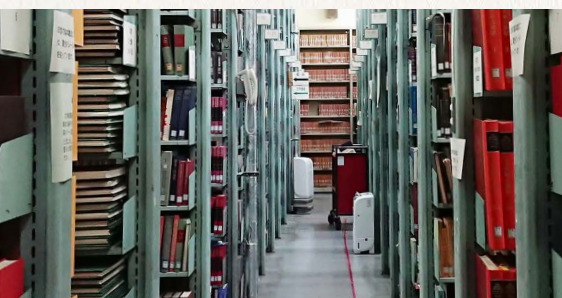
● 指定討論

伊東 達也 山口大学人文学部准教授

菅 史彦 九州大学経済学研究院准教授

企画・司会

蛭沼 芽衣 九州大学人文科学研究院助教



〔共催〕九州大学附属図書館、九州大学人文科学研究院、
九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻、
九州大学アジア・オセアニア研究教育機構、
九州大学社会連携推進室 科学コミュニケーション推進グループ
〔後援〕九州大学文学部創立100周年記念事業実施委員会



学問の種を保存する

知的インフラとしての大学図書館

人文科学研究院／人間環境学研究院／法学研究院／経済学研究院 九州大学人文学部協働研究・教育コモンズ 第35弾企画

令和7年、九州大学附属図書館所蔵
「金光明最勝王経」が
重要文化財に指定されました。



大学図書館には、専門的な研究書や一次資料など学術的に価値ある資料が多数収蔵されています。そうした資料の中には、文化財としても文献資料・研究資源としても重要で多面的な価値を持つものが少なくありません。たとえば、九州大学に所蔵されている平安時代の訓点資料『金光明最勝王経』には、奈良写経という歴史的・文化的価値、仏典としての宗教的価値に加え、当時の日本語の読解法や言語使用を知る手がかりとなる国語学的な価値も備わっています。

資料のもつ多様な価値を、正しく理解し、適切に保存・管理・活用できるのは、専門的知識と体制を備えた大学図書館ならではの価値です。本企画では大学図書館が担う「保存」と「研究支援」に注目し、学術的・社会的に果たすべき役割について改めて考えていきます。資料保存の方針や文化財的価値のある資料の継承、そして潜在的利用者に向けたアーカイブ戦略の重要性についても議論を深め、大学図書館の多面的な意義と将来にわたる可能性を広く共有する機会となることを目指します。

開催中

会場／九州大学伊都キャンパス フジイギャラリー [入場無料]

九州大学100年の中国学研究

2025年10月6日(月)～2025年11月28日(金) (土・日・祝休館)

祝・重文指定「金光明最勝王経」特別公開

10月9日(木)～10月14日(火)・11月4日(火)～11月13日(木)